

# クラウドゲートウェイ クロスコネク 帯域確保型 技術参考資料 第1.2版

2 0 2 2 年 9 月  
東日本電信電話株式会社

---

## 制改定履歴

制改定年月日	版数	主な制改定内容
2021年7月	1.0	新規制定
2021年9月	1.1	「3. サービス品目」「表 3-2 詳細条件」の修正
2022年9月	1.2	Interconnected WAN対応に伴う修正全般

---

## 【まえがき】

この技術参考資料は、クラウドゲートウェイ クロスコネクト帯域確保型サービス利用規約に定めるクラウドゲートウェイ クロスコネクト帯域確保型を提供する設備とこれに接続する端末機器とのインタフェース条件について説明したもので、端末機器等を設計、準備する際の参考となる技術的情報を提供するものです。東日本電信電話株式会社（以下、NTT東日本）は、この資料の内容によって通信の品質を保証するものではありません。

今後、本資料は、インタフェースの追加、変更に合わせて、予告なく変更される場合があります。

---

---

## 目次

### 【まえがき】

1. サービス概要.....	4
1.1. 基本用語解説.....	5
2. サービス提供範囲.....	6
3. サービス品目.....	7

# 1. サービス概要

本サービスは、お客様のネットワーク回線を当社指定の場所（東京）まで敷設いただくことで、複数のパブリッククラウドサービスをセキュアに最大10Gbpsの広帯域で閉域接続するネットワークサービスです。

これにより、アマゾン ウェブ サービス(AWS)、Google Cloud Platform(GCP)、Microsoft Azure、Microsoft 365、Oracle CloudなどのIaaS、PaaS、SaaS型のクラウドサービスに対してセキュアで大容量のデータ流通が可能となります。

本サービスの特徴は以下の通りです。

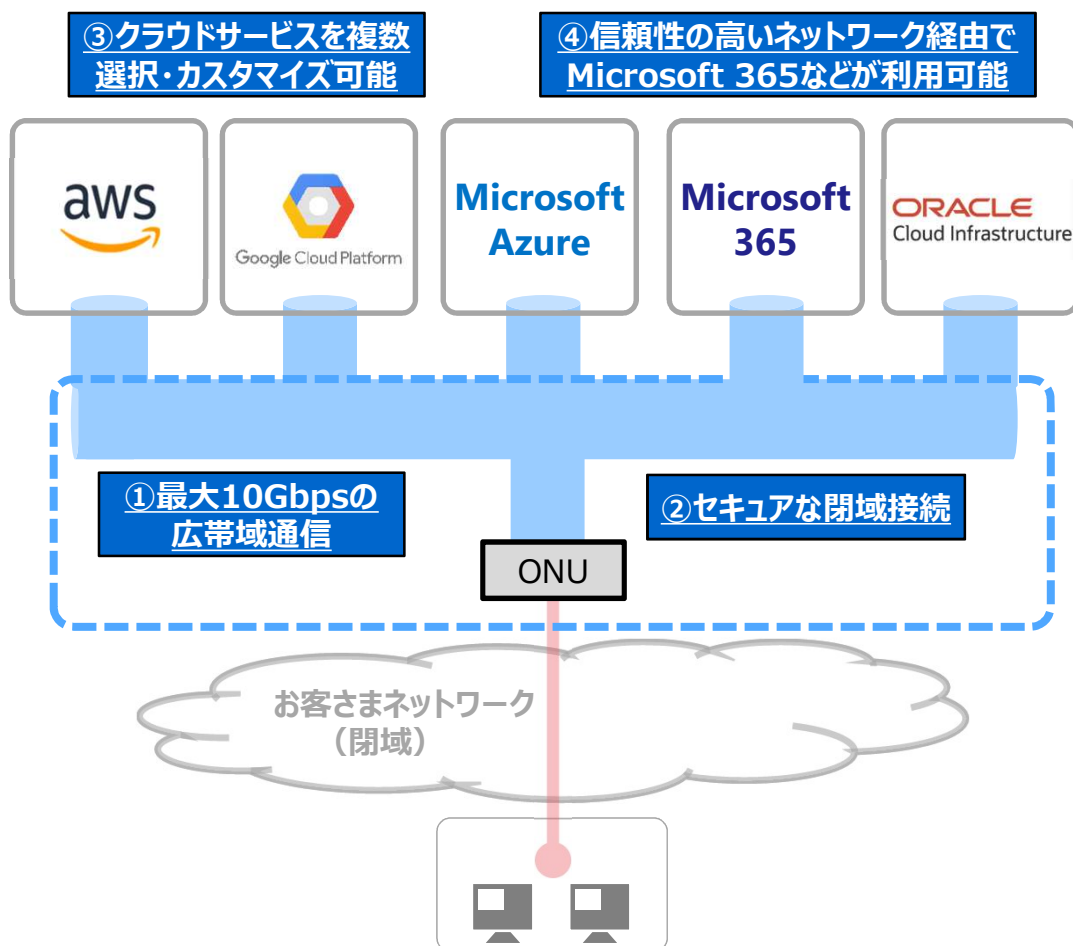


図1-1 本サービスの特徴

※アマゾン ウェブ サービス、AWS、AWSロゴは、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。Google、Google Cloud Platform、GCPは、Google LLCの登録商標または商標です。Microsoft、Azure、Microsoft 365は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

## 1.1 基本用語解説

本書で使用される基本的な用語を説明します。

	用語	定義
1	パブリッククラウドサービス	本サービスにより接続可能となる、各クラウド事業者が提供するクラウドサービス (AWS、Microsoft Azure、Microsoft 365、Oracle Cloud)
2	IaaS/PaaS/SaaS	<ul style="list-style-type: none"><li>・Infrastructure as a Service : CPUやメモリ、OSなどのコンピュータリソースをネットワーク経由で提供する形態</li><li>・Platform as a Service : ソフトウェアを構築および稼働させるためのプラットフォームをネットワーク経由で提供する形態</li><li>・Software as a Service : アプリケーション等のソフトウェアをネットワーク経由で提供する形態</li></ul>
3	回線終端装置	ネットワークサービスの終端に設置され、光信号・電気信号間の変換と光信号の多重・分離をする役割を担う装置
4	BGPルータ	IETF (Internet Engineering Task Force) が定めるRFC 4271で規定されるBGP (Border Gateway Protocol)の機能を具備する通信機器

## 2. サービス提供範囲

本サービスの提供範囲を下記に示します。

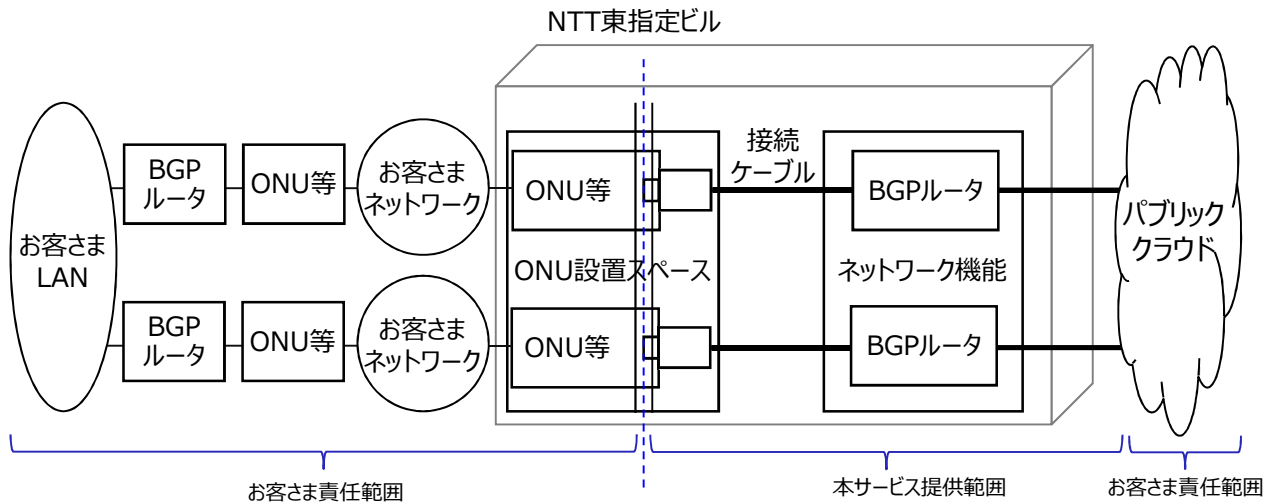


図 2-1 サービス提供範囲

本サービスでは、NTT東指定ビルにおいて、お客さまご用意のネットワーク回線を2回線接続するためのポートを提供します。また、NTT東指定ビルにおいて、ネットワーク回線の回線終端装置 (ONU等)を2台設置するスペースを提供します。

お客さまには、ネットワーク回線 (ユーザ調達回線)、および、お客さま拠点に設置するBGPルータ、パブリッククラウドをご用意いただきます。

### 3. サービス品目

本サービスのプランにおける、接続可能なユーザ調達回線およびNTT東指定ビルに敷設可能なユーザ調達回線の品目を下表に示します。

**表 3-1 ネットワーク回線サービス**

本サービスプラン	ユーザ調達回線	品目	備考
10M 50M 100M 500M 1G 5G 10G	Interconnected WAN※1	100M~10G	終端装置は回線終端装置とする。 (コネクタ/光成端箱等は不可)
10M 50M 100M 500M 1G	ビジネスイーサワイド ※1※2	10M~1G	シングルアクセスまたは デュアルアクセス（セレクトタイプ）から 選択
5G 10G	高速広帯域 アクセスサービス	10G	タイプ1またはタイプ2から選択

※1 NTT東指定ビルに敷設するユーザ調達回線に複数のVPNグループ(Interconnected WAN)・サブグループ(ビジネスイーサワイド)を多重しないでください(多重無しアクセス回線で接続ください)。

※2 NTT東指定ビルに敷設するユーザ調達回線にレンタルルータは付与しないでください。

ネットワーク回線サービスごとの詳細条件は下表の通りです。

**表 3-2 詳細条件**

ユーザ調達回線	インタフェース種別	電源種別	通信モード
Interconnected WAN	・品目が100M,1G 100BASE-TXまたは 1000BASE-T ・品目が10G 10GBASE-SR	AC100V	・品目が100M,1G Auto  ・品目が10G 全二重固定
ビジネスイーサワイド	10BASE-Tまたは 100BASE-TXまたは 1000BASE-T	AC100V	auto
高速広帯域 アクセスサービス	10GBASE-SR	AC100V	全二重固定